

加工組織の成長過程と維持・成長させるための対策

福島県農業総合センター 企画経営部

1 部門名

農業経営 - その他

2 担当者

新妻俊栄・宮島聡

3 要旨

加工組織の成長要因・阻害要因を明らかにするため、県内の10組織について聞き調査を実施し、経過年数、主な加工品、設立経緯、理念・目的、今後の方針等を調査したうえで、システム思考(図1の注1)により解析した。

その結果、加工組織は、売上高の成長とともに、労働や設備等の生産余力が減少するが、一旦生産余力が無くなり、新規投資のリスクを負えなくなる状況に陥ると、増産が困難となり成長が停滞することが明らかになった。このことから、加工組織の成長には、生産余力があるうちの事前対策が重要である。

- (1) 社会的な使命感を持つ加工組織は、地域資源を活用しながら需要に応えることで、売上高の成長する過程があった(図1 成長プロセス)。
- (2) 売上高が成長する過程で労働や設備等の生産余力が減少するが、一旦生産余力が無くなり、新規投資のリスクを負えなくなると、増産が困難になり成長が停滞した(図1 制限プロセスの5)。
- (3) 加工組織の成長には、生産余力のあるうちに、ビジョンの確認、雇用の確保、設備投資の計画、地域資源の発掘、および商品開発等の事前の対策を取ることが重要である。

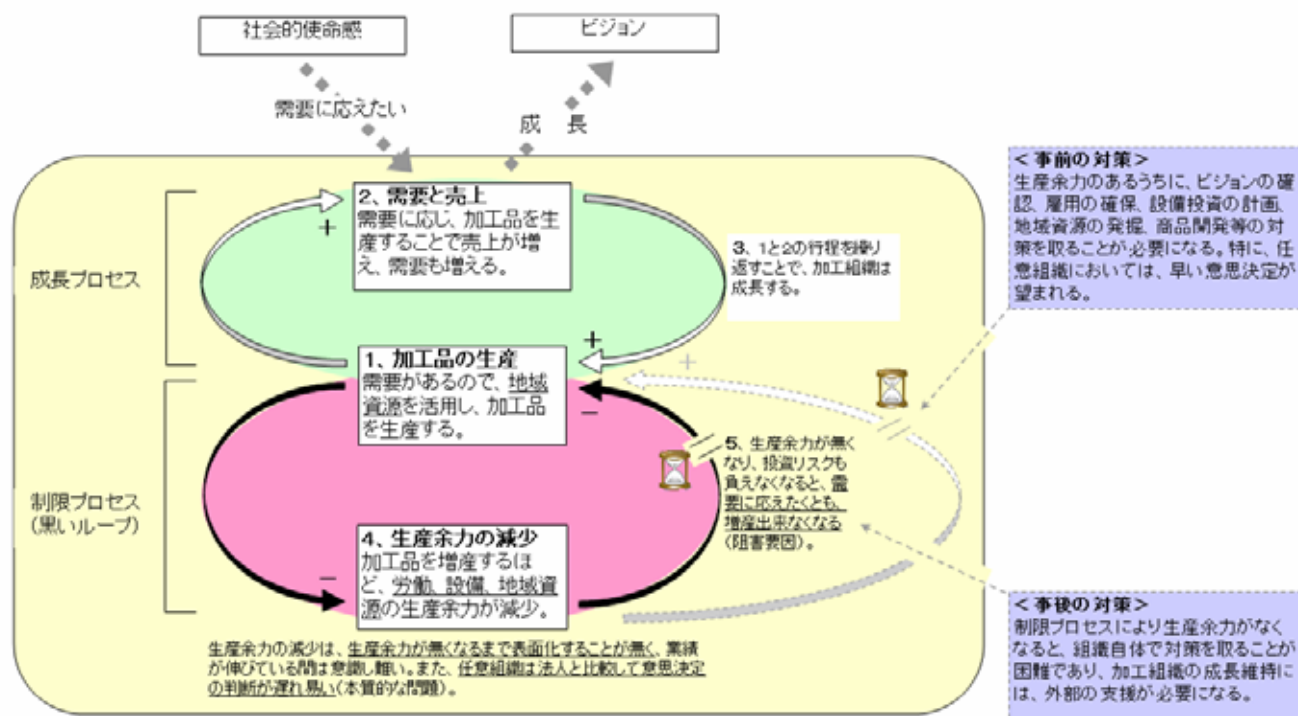


図1 加工組織の現状と今後の対策 (システム思考によるシステム図)

- 注1) システム思考は、さまざまな力の相互関連性に目を向け、一連のプロセスとして理解することを目的とし、組織の構造的な問題を解析する手法のこと。それを図示したのがシステム図。これにより、問題解決を視覚的に検討することが可能になる。
- 注2) 図中の正(+)の矢印は拡張するプロセス、負(-)の矢印は平衡するプロセスを示す。また、砂時計はプロセスの結果に時間的な遅れが生じる事を示す。
- 注3) 社会的使命感を持つ加工組織や、当該加工品は常に需要があるという実態に基づき、システム図を作成した。

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成20年度農業総合センター試験成績概要(2009)